

会議録（要点記録）

平成 30 年 3 月 14 日

件名	第 8 回霧島市総合計画審議会
日時	平成 30 年 3 月 14 日（水）14 時 30 分～16 時 00 分
場所	庁議室
関係者	○委員：福永会長、宮本委員、中村委員、鎌田委員、福原委員、中條委員、鈴吉委員、岩橋委員、古田委員、松元委員、西田委員、若松委員、高橋委員、久米村委員 ○事務局（企画政策課）：満留部長、永山課長、野崎課長補佐、森山 G 長、横山主査 ○コンサル：有限責任監査法人トーマツ 小部

＜発言要旨＞

審議会からの意見等を踏まえた基本計画の変更について

- （福原委員）2015 年度から 2016 年度にかけて、ブロードバンド整備率が下降しているのはなぜか。
- （事務局）2016 年度は市が把握している値、2015 年度は国が把握している値であり、値の積み上げ方に多少の相違があると思われる。
- （福永会長）福山地域の自治会加入率（72・6%）はもっと高かったと思われる。正確な数値であるか再確認を行うこと。

基本計画の答申（案）について

- （福永会長）委員の意見を概ね反映した内容になっていると思われる。修正又は追記すべき事項はないか。
- （委員）※賛同の声
- （福永会長）後ほど、市長に対し本書により答申を行うこととする。

その他

- （鎌田委員）素晴らしい計画ができたが、本当に実行できるのか不安である。
- （事務局）各担当、各課が一丸となって現行計画の振り返りを行い、次期総合計画の策定を進めてきた。これまで行政評価による PDCA を行っているが、成果が出ていない部分もあることから、改めてこのことを全職員が認識し、計画を推進していく必要がある。また、行政だけでは実現が難しいため、市民とともに実現を目指していく。
- （岩橋委員）現行計画は知っている市民が少ないのではないかとと思われることから、まずは市民に知ってもらうことが重要である。以前、福山地域で計画を策定したことがある。地域が小学校や中学校を支えていく内容のものであったが、計画策定の 2～3 年後に中学校は廃校となった。市民に対して、どのような手法で計画を周知していく予定であるか？
- （事務局）4 月の市広報誌に特集記事を掲載し、まずは計画の存在を知ってもらう。また、ダイジェスト版を作成することとしており、様々な機会を活用していきたいと考えている。また、計画策定において「霧島みらいカフェ」を開催したところであるが、来年度も引き続きこのような市民参画の機会を設け、計画を周知するとともに、市民と一緒に計画を推進していきたいと考えている。

(岩橋委員) 回覧板や自治会等の総会など、様々な場で周知をお願いしたい。

(古田委員) 計画のPDCAも重要である。チェックは市内だけでなく、一般市民の声の本質を捉えていくためにも、第三者が評価をできるようにしていただきたい。

(久米村委員) 大きな計画であり、それなりの予算措置がないと実行できない内容も多い。そういった意味で、税金の有効活用に繋げていただきたい。例えば、PPPやPFIなどを積極的に取り入れ、効率的な行政運営を行っていただきたい。

(事務局) 今年度策定した行革大綱には、PPPやPFIの導入を明記しており、今後、個別具体の事業に取り入れるべく研究を進めていく。

(中村委員) どの産業もだが、特に農業は高齢化が進んでいる。また、後継者ができたとしても、結婚がネックになっていることが多い。JAが年に2回程度婚活イベントを行っているようだが、他産業との交流なども重要になると考えている。こういった取組も、長期的には遊休農地の活性化に繋がる。

(松元委員) 国分・隼人などの中心市街地の自治会加入率が低くなっていることは残念である。魅力ある自治会づくりが必要である。また、霧島市は学校がたくさんあることから、子どもたちを巻き込むイベントなどを検討していただきたい。

(福原委員) 他自治体において、自治会の合併に対し支援を行っているケースがある。本市においても自治会再編の支援策を具体化していただきたい。また、中山間地域における未利用の市有地は、民間を活用しながら宅地化できないかと考えており、これも事業化を期待する。